

2024 やまがた県政の動き



山 形 県

表紙写真

山形新幹線新型車両E8系出発式 (2024.3.16 左上)

東北農林専門職大学 開学 (2024.4.8 右上)

タイでの県産農産物輸出拡大、観光誘客促進に係るトップセールス (2024.5.31 左中)

7月25日からの大雨に関する第1回災害対策本部員会議 (2024.7.25 右中)

7月25日からの大雨による被災地の視察(酒田市刈谷地区) (2024.7.27 左下)

鏡優翔選手への山形県県民栄誉賞贈呈式 (2024.11.25 右下)

2024 やまがた県政の動き

1月

- 1日 石川県能登地方を震源とする地震(令和6年能登半島地震)の発生を受け、「石川県沖を震源とする災害対策本部」を設置
- 1日 性的マイノリティのカップルによるパートナーシップの宣誓を証明する「山形県パートナーシップ宣誓制度」の開始
- 4日 第5回ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)における日本優勝に貢献したプロ野球セ・リーグ 阪神タイガースの中野拓夢選手(天童市出身)へ「山形県スポーツ栄光賞」を授与
- 5日 県と山形市が共同で、山形県トラック協会の協力を得て、令和6年能登半島地震で被災した石川県へ支援物資を提供
- 6日 厚生労働省の派遣要請(第3次隊)を受け、石川県能登地方にDMAT(8チーム)を1月10日まで派遣(DMATについては1月17日から2月5日の期間でも派遣実施)
- 9日 本県における応急対策等の終了に伴い、「石川県沖を震源とする地震に係る災害対策本部」を廃止
- 11日 「知事と若者の地域創生ミーティング」を天童市で開催 吉村知事と天童市長が市内の若者7名と意見交換(12月までに県内市町村で計12回実施)
- 12日 少子化など社会の変化に対応して、特に「第7次山形県教育振興計画」期間中における山形県立高等学校の在り方について意見を求め、今後の教育行政に反映させるため、「県立高校の将来の在り方検討委員会」を設置
- 15日 令和6年能登半島地震の被害を受けた新潟県新潟市へ対口支援として、災害に係る住家の被害認定調査業務に従事する職員を市町村と連携し派遣(~1月31日)
- 15日 平山副知事が、宮城県の池田副知事や、みちのくウエストライン「石巻新庄道路・新庄酒田道路」の沿線市町、関係団体とともに政府与党に対し要望活動を実施
- 19日 国の文化審議会が、「庄内の笹巻製造技術」について登録無形民俗文化財として新規登録するよう文部科学大臣に答申 登録無形民俗文化財の登録は本県初
- 24日 「知事のほのぼの訪問」を飯豊町で実施 吉村知事が町内で活動する女声合唱団「コラル・ド・めざみ」を訪問(5月14日に第2回実施 鶴岡市「田麦の郷」を訪問)

- 31日 東日本大震災が発生した3月11日を「県民防災デー(防災点検の日)」と制定

2月

- 2日 県とJR東日本東北本部が「山形県春の観光キャンペーン」共同記者発表を実施 4月1日から展開する観光キャンペーンの実施概要について発表
- 5日 令和5年度「樹氷復活県民会議」を開催 令和5年度の活動を確認するとともに、稚樹の育苗・移植範囲の拡大など令和6年度の活動方針について確認
- 14日 令和6年度一般会計当初予算案を県議会に内示 一般会計の総額は6,498億3,200万円(前年度当初予算比4.7%減)
- 15日 県独自の断熱・気密性能等基準に適合する住宅である「やまがた省エネ健康住宅」のロゴマーク及び愛称について公表 愛称は「やまぽっか」
- 19日 山形「つや姫」「雪若丸」ブランド戦略会議を開催(山形市・ホテルメトロポリタン山形) 令和6年度のブランド化戦略の取組みについて協議
- 20日 県議会2月定例会が開会(～3月19日)
- 21日 第78回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会「やまがた雪未来国スポ」が開催(～2月24日) 本県でのスキー競技会は10年ぶり7度目 暖冬少雪の中の開催となったが、スキー競技会においては20年ぶりに天皇杯4位を獲得
- 27日 令和5年度山形県スポーツ賞授賞者を決定(101名7団体) 県庁で授賞式を開催
- 27日 県庁舎1階ロビーに県産木材を使用したユニット型ベビーケアルーム(授乳室)を設置
- 29日 一般財団法人日本穀物検定協会が公表した「令和5年産米の食味ランキング」で「つや姫」が14年連続14回目、「雪若丸」が6年連続6回目の特A評価

3月

- 9日 新潟山形南部連絡道路の一部を構成する国道113号「梨郷道路」が開通し、開通式典に吉村知事が出席 同日、国道287号「米沢長井道路」の「川西バイパス工区(I期区間)」についても開通
- 11日 『令和6年産「つや姫」「雪若丸」キックオフフォーラム』を開催(山形市・パレスグランデール) 高温少雨に係る栽培技術研修会などを実施

- 12日 石川県からの派遣要請を受け、石川県に山形 DWAT(1チーム)を、3月16日まで派遣
- 13日 県議会農林常任委員会において、県産フルーツの情報発信施設「フルーツ・ステーション」関連事業費を盛り込んだ令和6年度山形県一般会計予算案が否決 県は翌14日に予算案の撤回を決定
- 15日 県は、令和6年度山形県一般会計予算案について、「フルーツ・ステーション」関連事業費を削除した修正案(6,497億8,345万円)を県議会へ再提案 同日、本会議で可決
- 15日 山形県文化財保護審議会が、「木造千手観音菩薩立像及び脇侍木造毘沙門天立像、脇侍木造不動明王立像」、「旧西田川郡役所塔時計」、「西村山郡役所文書」について県有形文化財として指定するよう知事に答申
- 16日 山形新幹線「つばさ」の新型車両「E8系」が営業運転を開始 JR山形駅で出発式が開催され、吉村知事が出席
- 18日 県議会から知事に対し令和5年度政策提言を実施 県内外における大規模地震発生時の対応力強化など計20項目を提言
- 19日 県議会2月定例会最終日に副議長選挙が実施され、第69代副議長に矢吹栄修議員が選出
- 22日 県が、本県が目指すべき水素社会の姿と今後の取組みの方向性を示す「山形県水素ビジョン」を策定
- 23日 日本海沿岸東北自動車道「遊佐比子IC～遊佐鳥海IC」間が開通し、開通式典に平山副知事が出席
- 24日 東北中央自動車道「山形PAスマートインターチェンジ」が開通
- 25日 山形県奥羽・羽越新幹線整備実現同盟(会長:吉村知事)が、JR東日本本社を訪問し、山形新幹線米沢トンネル(仮称)整備の早期事業化等を要望
- 27日 「令和5年度カーボンニュートラルやまがた推進本部会議」を開催 令和6年度の当初予算に係るカーボンニュートラル関連事業と県機関のエコオフィス運動の取組内容を確認
- 27日 県と鶴岡市及び学校法人慶應義塾が、慶應義塾大学先端生命科学研究所を核とした研究教育活動プロジェクトを共同で推進するため、協定を締結
- 28日 県と株式会社ヤマザワが、地域社会の持続的な発展のため、相互の連携を強化する「包括連携協定」を締結
- 28日 県と寒河江市が、県立河北病院と寒河江市立病院の統合再編に係る基本合意書の取り交わしを実施

4月

- 1日 山形県山形新幹線新トンネル整備基金を創設
- 1日 「山形県春の観光キャンペーン」開始(～6月30日)「心ほどけるやまがた」をキャッチコピーに、美食・美酒、温泉、自然、歴史・文化、祭り、田舎暮らしをテーマにした企画を実施
- 1日 やまがた観光情報センターを一部リニューアルし、県産酒の試飲コーナー等を新設
- 1日 国土交通省より「酒田港外港地区国際物流ターミナル(-12m)整備事業」の新規事業化が公表
- 1日 県庁舎等県関連施設において、県内で生まれた自然由来の再生可能エネルギー100%の電力「やまがたCO2フリー電力」の使用開始
- 1日 企業局水力発電などでつくった再生可能エネルギーを活用し、公営事業では全国初となる水道用水と工業用水道の全浄水場電源の脱炭素化を実施
- 2日 県が、首都圏における移住相談窓口と就職相談窓口を一体化した新たな相談窓口「やまがた暮らし・しごとサポートセンター」(東京都)を開設
- 5日 児童自立支援施設「朝日学園」(大江町)の新本館落成記念式を開催
- 8日 最上地方発の4年制大学であり、東北初の公立農林業系専門職大学である「東北農林専門職大学」(新庄市)が開学 1期生として43名が入学
- 10日 県内2校目、庄内地域初となる併設型中高一貫校「山形県立致道館中学校・高等学校」において開校式及び入学式を開催
- 17日 本県でさくらんぼ等の栽培開始から150年となる令和7年に向け、PR用の「やまがたフルーツ150周年」のロゴマークとキャッチフレーズを発表 キャッチフレーズは「いちずに、かじつ。」
- 22日 保育所等利用及び待機児童の状況(4月1日現在:速報)を公表 待機児童は5年連続0人
- 23日 米沢工業高校と米沢商業高校を統合して令和7年4月に開校予定である「山形県立米沢鶴城高等学校」について、開校準備室を米沢工業高校内に設置し、開所式を実施
- 24日 「第1回山形県熱中症対策調整会議」を開催 熱中症対策に係る庁内体制と令和6年度の主な取組みについて確認
- 26日 国土交通省が酒田港を洋上風力発電事業の建設拠点「基地港湾」に指定 指定は全国で6例目

5月

- 1日 県は、介護事業所向けのワンストップ型相談窓口「山形県介護生産性向上総合支援センター」(天童市)を開所
- 4日 南陽市宮内地内で大規模林野火災が発生 (5月12日18時鎮火 焼損面積は約122ha) 県内では、4月から5月にかけて高畠町等でも大規模な林野火災が発生
- 7日 「大規模林野火災警戒・緊急連絡会議」を開催 県内で発生している大規模林野火災の状況について確認
- 8日 令和6年春の叙勲・褒章等の県内受章者に対する伝達式(知事伝達分)を文翔館(山形市)で開催 春の叙勲20名、春の褒章4名、危険業務従事者叙勲7名の受章者に勲章・褒章を伝達
- 10日 酒田港と門司港、博多港(いずれも福岡県)、新潟港(新潟市)を結ぶ内航航路が開設 外貿定期コンテナ航路につながる内航航路の開設は酒田港初
- 13日 令和6年能登半島地震の被害を受けた石川県志賀町へ対口支援として、災害に係る住家の被害認定調査業務に従事する職員を市町村と連携し派遣(～6月1日)
- 19日 岸田文雄内閣総理大臣が来県し、日本海総合病院を視察 医療現場でのDXの推進などを確認するとともに、吉村知事らと意見交換を実施
- 21日 県と寒河江市は、県立河北病院及び寒河江市立病院の統合再編・新病院整備に関する協議会を設置し、同日第1回運営委員会を開催
- 21日 令和6年産さくらんぼの作柄調査結果を発表 予想収穫量については12,100トン(前年比93%、平年比91%)で、作柄は「やや少ない」と予測
- 27日 「令和6年度第1回県及び市町村長・議長会議」を開催 県から令和6年度の県の取組み等について説明するとともに、市町村からの意見・提言について意見交換を実施
- 27日 「山形県いじめ問題対策連絡協議会」を開催 令和5年度のいじめに関する調査結果の認知件数は、県内の小中学校・高等学校・特別支援学校(国立・私立を除く)11,845件(前年度比401件減)と発表
- 29日 吉村知事がタイを訪問し、「やまがた紅王」などの県産農産物の輸出拡大及び観光誘客促進のトップセールスを実施(～6月1日)

6月

- 5日 山形県開発推進協議会(会長:吉村知事)が、関係府省に対し「令和7年度政府の施策等に対する提案」に係る提案活動を実施

- 5日 厚生労働省が令和5年人口動態統計を公表 全国 1.20 に対し、本県の合計特殊出生率は前年比 0.1 ポイント減の 1.22
- 6日 「やまがたフルーツ 150 周年」のスタートアップイベントとして「さくらんぼイブニング」を初開催 県産フルーツを活用した食品の販売やセレモニーを実施
- 7日 「東北公益文科大学の公立化・機能強化に関する首長検討会議」を初開催 (Web 会議) 知事と庄内地域2市3町の首長が、設立団体、財政負担のあり方等について議論
- 9日 吉村知事がイタリア、フランスを訪問し、県産日本酒の輸出拡大及び観光誘客促進のトップセールスを実施(～6月 14 日)
- 18日 県議会6月定例会が開会(～7月5日)
- 24日 全国知事会地方創生・日本創造本部の会合に吉村知事がオンライン会議で出席
- 26日 屋内スケート施設の整備を検討するため、有識者による検討会議を開催 (第2回は8月 22 日)
- 28日 「さくらんぼ生産支援等対策会議」を開催 知事、副知事、各部局長らが令和6年産さくらんぼの販売・生産状況等を共有
- 29日 こども家庭庁との共催で「子育て応援団すこやか 2024 こどもまんなかアクションリレーシンポジウム in やまがた」を開催 加藤鮎子こども政策担当大臣が講演

7月

- 9日 県議会6月定例会において可決された「山形県鳥獣被害防止対策の推進に関する条例」及び「山形県笑いで健康づくり推進条例」(いずれも議員発議)が公布・施行
- 10日 春先からの高温で収穫量の減少等被害を受けたさくらんぼ生産者の支援策として、「令和6年4月からの高温等被害対策資金(山形県農林漁業天災対策資金)」を発動
- 12日 県とウォータースタンド株式会社(埼玉県)が、「カーボンニュートラル実現のためのプラスチックごみ削減に関する連携協定」を締結 同日、マイボトル普及のため、県庁舎1階ロビーなどに給水器を設置
- 16日 県立博物館の移転整備に向けた基本構想を検討するため、有識者による検討委員会+を開催(第2回は 11 月 25 日)
- 17日 「山形『つや姫』『雪若丸』ブランド戦略会議」を開催(山形市・ホテルメトロポリタン山形) 高温耐性品種として、令和7年産の雪若丸の生産量増を決定

- 18日 山形県奥羽・羽越新幹線整備実現同盟令和6年度促進大会を開催し、山形新幹線米沢トンネル(仮称)の早期実現などに関する大会決議を採択
- 19日 国の文化審議会が、羽前絹練株式会社精練棟ほか6件(鶴岡市)について登録有形文化財(建造物)として新規登録するよう文部科学大臣に答申
- 22日 「東北公益文科大学の公立化・機能強化に関する第2回首長検討会議」を開催(Web 会議) 県と庄内2市3町が令和8年4月の公立化を目指すことで合意
- 22日 吉村知事が、県町村議会議長会と意見交換を実施(山形市・県自治会館)
- 23日 「令和6年度山形県 SDGs 推進本部会議」を開催
- 23日 日本遺産「山寺が支えた紅花文化」が、国の日本遺産審査・評価委員会の審査により、認定継続が決定
- 25日 庄内と最上地域を中心に記録的な大雨 気象庁が県内7市町村へ大雨特別警報を発表 県は災害対策本部を設置し、県内 16 市町村に災害救助法の適用を決定
- 31日 吉村知事が、関係府省に対し、7月 25 日からの大雨災害に関する緊急要望をオンラインで実施
- 31日 令和5年度一般会計歳入歳出決算の概要を発表 歳入は 6,975 億 9,600 万円、歳出は 6,870 億 2,800 万円 歳入から歳出と繰越財源を差し引いた実質収支は 61 億 5,200 万円の黒字

8月

- 1日 全国知事会議に吉村知事が Web 参加 米坂線の早期復旧に向けた政府の支援等を要請
- 4日 国道 458 号「本合海バイパス」(大蔵村清水～上竹野)が全線開通
- 5日 令和6年度「山形県障がいのある人もない人も共に生きる社会づくり県民会議」を開催 県や市町村、福祉団体が、令和6年度施行の障害者差別解消法の一部改正の確認等を実施
- 5日 令和6年度「子ども知事室」を開催-県内の小学5, 6年生 12 名が知事と県の仕事や未来の山形県について意見交換
- 6日 吉村知事が、秋田県の佐竹知事らと共に岸田内閣総理大臣を訪問 7月 25 日からの大雨による被災地の復旧に向けた財政措置の実施等を要望
- 8日 県と庄内地域2市3町、学校法人東北公益文科大学が「東北公益文科大学の公立化及び機能強化に関する基本合意書」を取り交わし

- 8日 吉村知事が、県市長会と意見交換を実施(山形市・ホテルメトロポリタン山形)
- 8日 7月25日からの大雨により被害を受けた県内農林漁業者への緊急的な支援として「農林水産物等災害対策事業」を発動 関連施設の復旧や資金繰りなどについて支援
- 15日 7月25日からの大雨により被害を受けた遊佐町に対し、県は被災者生活再建支援法を適用 8月23日には酒田市、30日には戸沢村に対し同法を適用
- 20日 「山形県総合政策審議会」を開催 第4次山形県総合発展計画「次期実施計画」策定における基本的考え方、重点課題と主な対応方向例などについて審議
- 21日 松村祥史内閣府特命担当大臣(防災)が酒田市及び戸沢村の大雨災害現場を視察 吉村知事と両自治体の首長が同行し、被災状況を説明
- 21日 令和5年度の県内の児童虐待状況を公表 児童相談所と市町村が通告を受け、児童虐待と認定した件数は869件 前年度比214件増で過去最多
- 26日 米沢鶴城高等学校の校章が決定 統合元の2校を表す2羽の鶴と枝垂れ桜からなるデザインで、互いに力を合わせて成長する様を上向きの鶴で表現
- 29日 令和6年産さくらんぼの収穫量について、5月時点での予想収穫量を大きく下回る8,700トン程度となる見込みであることを発表
- 29日 令和5年10月に特許庁へ申請していた「ラーメン県そば王国」の商標登録が完了
- 31日 令和4年8月の豪雨災害で被災し、今泉駅～坂町駅間が不通となっている米坂線の復旧に向けた機運の醸成等を目的として、「米坂線復活絆まつり」を小国町で開催

9月

- 4日 県と味の素 AGF 株式会社(東京都)が、「カーボンニュートラル実現のためのプラスチックごみ削減に関する連携協定」を締結 同社と都道府県とのプラスチックごみ削減に関する協定締結は初
- 6日 「山形・新潟・福島三県知事会議」(福島県会津若松市)に吉村知事が出席
- 7日 「山形県こども会議」を初開催 県内の小学校高学年から高校生までの19名が参加し、本県が抱える課題解決に向けた取組みの必要性などを提言
- 8日 県と長井市が合同総合防災訓練を実施(長井市・長井市役所等) 県警、消防、自衛隊、自主防災会など73機関約700名が参加し、大規模地震を想定した訓練を実施

- 10 日 令和6年度9月補正予算案を県議会に内示 7月25日からの大雨災害の復旧・被災者支援費用を中心に、一般会計補正予算額697億2,000万円を計上 記録上過去最大額
- 11 日 本県における7月25日からの大雨による災害の激甚災害指定が閣議決定
- 12 日 「山形県エネルギー戦略」の見直し版を策定 エネルギーを巡る社会情勢の変化等を踏まえ、再生可能エネルギー開発目標の上方修正など内容見直し
- 14 日 9月14日から15日まで高円宮妃殿下が、「第36回『星空の街・あおぞらの街』全国大会 in 朝日町」に御臨席及び地方事情を御視察のため御来県
- 18 日 県議会9月定例会が開会(～10月8日)
- 20 日 「やまがたSDGs推進月間」開始(～10月20日)
- 22 日 「YAMAGATA Youth Summit 2024」オープニングイベントを開催 国内外の若者や経営者等がグローバルな共通課題や地域資源の活用などをテーマに議論 11月までに県内4地域で地域セッションを実施
- 26 日 「感染症危機管理研修会」を開催(Web) 県内の自治体や医療関係者等を対象に、新型コロナ対応で得られた知見や課題を共有
- 29 日 国道112号山形中山道路の起工式が開催され、吉村知事が出席
- 30 日 鮭川村京塚地内及び戸沢村名高地内で、7月25日からの大雨災害の被災者に向けた応急仮設住宅が完成
- 30 日 山形市風間～十文字地内で、県道19号山形山寺線「高瀬川橋」が開通

10 月

- 4 日 県は、令和5年度県産農産物の輸出量について、過去最多の2,474トンとなったことを発表 輸出額(推計)についても過去最高の11億4,800万円
- 5 日 大江町藤田地内で、道の駅「おおえ」がリニューアルし、開業式典に吉村知事が出席
- 7 日 令和6年人事委員会勧告(月例給・ボーナスともに引き上げ、社会と公務の変化に応じた給与制度のアップデート)
- 9 日 衆議院が解散
- 9 日 水素を燃料とする燃料電池自動車(FCV)を公用車として導入 各種イベントでの展示を通じて水素エネルギーの普及啓発に活用
- 10 日 県と山形市が、「新スポーツ施設整備の共同での検討に係る基本的な考え方に関する合意書」の取り交わしを実施-

- 10日 厚生労働省が、西村山地域4病院の「村山構想区域」を、地域医療構想の実現に向けた「重点支援区域」として選定
- 15日 県総務部 高等教育政策・学事文書課内に「東北公益文科大学公立化準備室」を設置
- 15日 「やまがた森林ノミクス県民会議」を開催 委員が「やまがた森林ノミクス」の取組みについて情報共有、意見交換を実施
- 21日 「令和6年度第2回県及び市町村長・議長会議」を開催 県から「令和7年度県政運営の基本的考え方」等について説明するとともに、市町村からの意見・提言について意見交換を実施
- 22日 吉村知事が東京都の銀座三越でつや姫、雪若丸のトップセールスを実施 同日、都内にて雪若丸の新CM発表会も実施
- 22日 致道館中学校・高等学校の開校記念式典を鶴岡市内で開催
- 23日 県は、令和6年度新規就農者動向調査の結果について公表 新規就農者数は383人で、調査を開始した昭和60年以降最多 東北では9年連続でトップ
- 24日 「7月25日からの大雨に関する災害対策本部」を廃止し、新設した「令和6年7月25日からの大雨災害に関する復旧・復興対策会議」へ移行
- 27日 第50回衆議院議員総選挙 1区:遠藤利明氏、2区:鈴木憲和氏、3区:加藤鮎子氏、東北比例:菊池大二郎氏が当選 県内の小選挙区の投票率は全国第1位の60.82%(全国平均は53.85%)
- 29日 吉村知事が、県町村会と意見交換を実施(山形市・パレスグランデール)

11月

- 5日 県と戸沢村が、国土交通省東北地方整備局に対して、7月25日からの大雨で被災した戸沢村蔵岡地区の集団移転に向けた支援などについて要望
- 5日 「山形県DX推進本部会議」を開催 令和8年度中に「公文書は、電子媒体を正本・原本とすることを基本」とする、文書事務の基本的方針を決定
- 5日 「山形県総合政策審議会」を開催 第4次山形県総合発展計画「次期実施計画」の策定に向けた審議会の提言案について審議
- 6日 「北海道東北地方知事会議」(宮城県仙台市) に吉村知事が出席
- 8日 令和6年秋の叙勲・褒章等の県内受章者に対する伝達式(知事伝達分)を文翔館(山形市)で開催 秋の叙勲23名、秋の褒章5名、危険業務従事者叙勲8名の受章者に勲章・褒章を伝達

- 8日 「第2回山形県熱中症対策調整会議」を実施 今夏の熱中症対策に係る各
部局の取組みの状況等を振り返り
- 11日 県と山形市の合意に基づき、新スポーツ施設の整備を共同で検討するた
め、有識者による検討会議を開催
- 12日 吉村知事が大阪市の高島屋大阪店及び名古屋市の名鉄百貨店本店でつ
や姫、雪若丸のトップセールスを実施
- 19日 「2024 輝く県民活躍大賞」の受賞団体を決定(9団体) 県庁で授賞式を開
催
- 19日 「庄内空港将来ビジョン検討会」を開催 空港の利用状況や空港機能強化
の取組み等について県が説明し、有識者等が空港の将来のあり方につい
て意見交換 翌 20 日には「山形空港将来ビジョン検討会」を開催
- 19日 新型コロナウイルス感染症の拡大防止、県民生活や経済活動の維持・回復
に向けた施策の推進など、幅広い分野での顕著な功績により、元山形県医
師会長の中目千之氏に対し、県庁で山形県特別功労賞を贈呈
- 21日 遊佐町沖・酒田市沖洋上風力発電事業における経済波及効果の調査結果
について、経済波及効果約 1,780 億円、就業見込み者数約 1 万 2,500 人と
試算されたことを発表
- 22日 『令和6年7月 25 日からの大雨災害』からの復旧・復興に向けた意見交換
会」を開催(最上総合支庁、庄内総合支庁)
- 22日 平山副知事らが政府与党に対し、東北中央自動車道、日本海沿岸東北自
動車道、宮城・山形横断自動車国道建設促進同盟会合同要望活動を実施
- 22日 平山副知事が国土交通省に対し、一般国道 112 号の整備推進に関する要
望活動を実施
- 23日 大江町月布地内で、県道 27 号大江西川線「月布橋」が開通
- 24日 パリオリンピック女子レスリング 76kg 級で金メダルを獲得した山形市出身
の鏡優翔氏に対し、文翔館(山形市)で山形県県民栄誉賞を贈呈
- 25日 吉村知事が、被災した庄内・最上地域の首長らと、関係府省に対し、7 月 25
日からの大雨災害に関する要望活動を実施
- 25日 政府主催全国知事会議(東京都)に吉村知事が出席
- 25日 平山副知事が、県市議会議長会と意見交換を実施

12 月

3日 県議会 12 月定例会が開会(～12 月 20 日)

- 3日 令和6年度12月補正予算案について県議会に説明 国庫補助対象外の小規模農地の復旧支援など7月25日からの大雨災害への対応など一般会計総額35億3,700万円を計上
- 3日 令和7年度当初予算の要求概要を公表 一般会計の予算要求規模6,825億円(前年度当初予算比5.0%増)
- 7日 新庄酒田道路の一部を構成する国道47号「新庄古口道路」(新庄市大字升形～戸沢村大字津谷間)が開通し、開通式典に吉村知事が出席
- 11日 山形県総合政策審議会兼子会長から吉村知事へ、第4次山形県総合発展計画次期実施計画策定に向けた基本的考え方(提言)を手交
- 16日 令和6年度12月補正予算案(追加)を県議会に提出 政府の「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」に対応し、物価高騰対策、大雨被災者支援等一般会計補正予算456億8,200万円を計上
- 17日 令和8年4月に開校する、新庄北高校と新庄南高校を統合した新高校の校名について、「山形県立新庄志誠館高等学校」とすることを発表
- 18日 県が米沢市、米沢商工会議所及び山形大学工学部とともに「イノベーションの創出に向けた連携に係る基本合意書」に調印
- 20日 「さくらんぼ高温対策推進フォーラム」を初開催 令和6年産さくらんぼの収穫量が大きく減少したことを踏まえ、さくらんぼ生産者らが高温対策技術などについて確認
- 24日 農林水産省が令和5年農業産出額を発表 本県は2,441億円(前年比2.0%増)で2年連続の増加となり、全国順位は第13位(前年と同じ)、東北第3位(前年と同じ)
- 23日 県とエヌ・デーソフトウェア株式会社が、山形県総合運動公園陸上競技場の施設命名権(ネーミングライツ)について契約更新に合意し、県庁で協定書締結 施設名は「NDソフトスタジアム山形」を継続
- 24日 経済産業省・国土交通省が、遊佐町沖の洋上風力発電事業者として「山形遊佐洋上風力合同会社」を選定したことを発表

作成 令和 7 年 3 月 28 日
山形県総務部広報広聴推進課
山形市松波二丁目 8 番 1 号
電話番号 023(630)2106